



中海と生きる。

島田地区中海流出水対策協議会
発行：令和3年2月



祝 中海・宍道湖

ラムサール条約登録15周年



これからも中海・宍道湖を守っていきこう！

パネルディスカッション
～中海・宍道湖の未来に向かって～



中海・宍道湖は、多くの水鳥が生息する貴重な湿地として平成17年11月8日にラムサール条約に登録され、今年で登録15周年を迎えました。これを記念した鳥根県・鳥取県共同開催のイベントでは、山陰の小中学生による「未来宣言」が行われ、今後も豊かな中海・宍道湖を守っていくことが宣言されました。

保全・再生

水鳥の生息地としてだけでなく、私たちの生活を支える重要な生態系として、幅広く湿地の保全を呼びかける

交流・学習 (CEPA)

湿地の保全や賢明な利用のために、交流、能力養成、教育、参加、普及啓発を進めることを大切にする

賢明な利用 (ワイズユース)

湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用する

ラムサール条約とは、国際的に重要な湿地及びそこに生息する動植物の保全を推進することを目的としたものであり、次の3つの柱を考え方の基盤としています。



湿地とは、水を含むあるいは水で覆われる土地のことであり、左図に示すものが含まれます。これらの土地は、貯水機能や水の浄化機能に優れ、生物の生息地としても重要な役割を果たしています。そのため、これから私たちが豊かな生活を維持するためには、今ある湿地を

大切に守っていかねければなりません。



1年間の活動記録

「島田交流センター」

中海・宍道湖がラムサール条約登録15周年を迎えたことを機に、協議会主催で講演会を開催しました。講演会では、中海・宍道湖がラムサール条約に登録されるまでの経緯など、さまざまなことをお話していただきました。

講師
板倉 宏文 氏



講演
～ラムサール条約のあれこれについて～



中海の生物や写真などを
展示しました！



島田地区文化祭では、中海などにすんでいる水生生物の展示や中海の歴史に関する写真の展示などを行いました。当日は多くの方にご来場いただき、中海について、より深く知っていただく機会になったのではないかと思います。

海藻肥料を
使ってみました！



※海藻肥料について、
詳しくは次のページを
ご覧ください



交流センターで野菜（白菜、キャベツ、大根）を栽培するにあたって、海藻肥料を使用していただきました。収穫した野菜は交流センターで販売しますので、気になる方はぜひ召し上がってみてください。

おいしいブロッコリーが
できました！



島田小学校5年生のみなさんには、海藻肥料を使用した農業体験を行っていただきました。今年にはブロッコリーを栽培し、収穫後はおいしくいただきました。

1年間の活動記録

【島田小学校】

～海藻肥料について知る～



～苗植え～



～海藻肥料をまく～



海藻肥料とは？

海藻肥料は、中海で増えすぎた海藻を刈り取って肥料にしたものです。増えた海藻は、そのままにしておくとも水の中で腐って猛毒の硫化水素を発生させ、生物を死滅させてしまいます。そうなる前に海藻を刈り取り、水質の悪化を防いでいるのです。また、海藻肥料を使うことで中海に化学肥料が流れ込むのを防ぐこともできます。

～試食～



今年のブロッコリーの糖度は約5%でした！

～収穫～



ハサミで切って収穫します！



鳥が怖がらないように静かに観察しましょう！

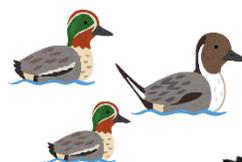


双眼鏡や望遠鏡を使って観察スタート！

わんぱくクラブでは、12月に自然観察会を実施し、干拓地の水鳥や植物を観察しました。中海などの湿地は生物多様性が高く、周辺の土地には毎年多くの水鳥が飛来します。今回、双眼鏡や望遠鏡を使ってじっくり観察することで、身近なところにもさまざまな水鳥や植物がいることを知っていただけたのではないかと思います。この学習会を通して、自然を守るこの大切さを感じていただければ嬉しいです。

1年間の活動記録

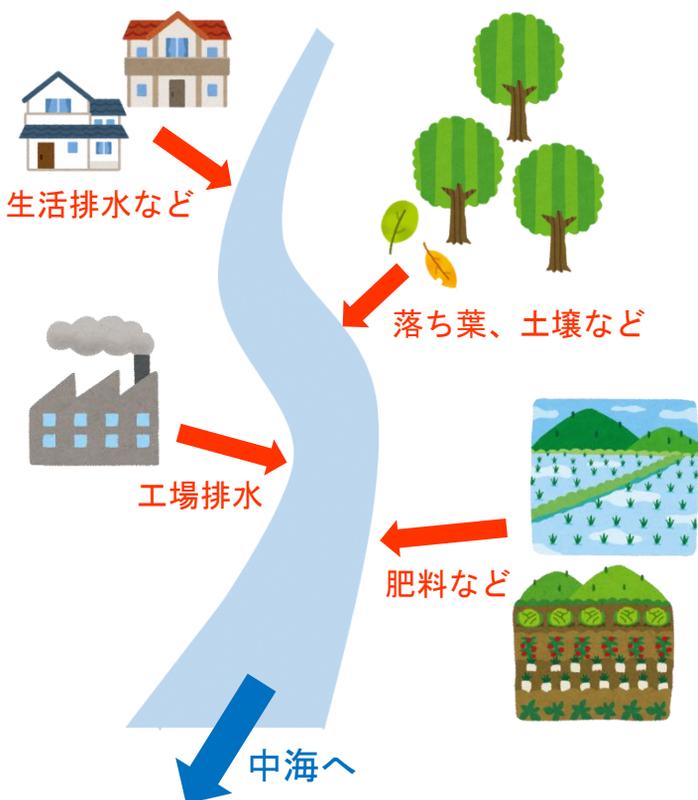
「わんぱくクラブ」



みんなできり組もう！

私たちにできる流出水対策

中海は陸地に囲まれた閉鎖的な湖であるため、水質汚濁が起こりやすく、水質汚濁が起こると元の水質に戻りにくいという性質があります。その中でも、島田地区を含む米子湾流域は、特に水質が悪い地点となっており、この地域における中海へ流れ込む汚濁負荷の低減を重点的に図るため、島田地区中海流出水対策協議会は活動しています。協議会では、毎年島田地区の河川の水質調査を実施し、水質結果を啓発などに活用しています。



【農業編】

★化学肥料の減肥

化学肥料は雨などにより河川へ流出しやすいため、緩効性肥料を使用するなど、化学肥料の使用を減らす工夫をしましょう。



★農業用資材の適正処理

近年、マイクロプラスチックによる海洋汚染が世界的な環境問題となっており、農業分野においても使用済みプラスチックの適正な処理が求められています。農業用資材を使用後にそのまま放棄・散逸せず、確実に回収して処分しましょう。



【家庭編】

★清掃活動

河川や道路側溝を清掃することで、ごみや泥、枯葉などの河川への流出を防ぎましょう。



★食えるとき

調理くず、食べ残しなどは最小限に抑え、捨てるときに直接流しに流さないようにしましょう。



★洗うとき

シャンプーやリンス、洗剤などは、適量を守って使しましょう。



近年、中海の水質は改善傾向にありますが、環境基準値（人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる値）は未だ達成できていません。未来に豊かな中海を残すためには、一人ひとりが流出水対策に取り組むことが大切です。